

【A年】

顕現後第四主日

神よ、あなたはみ子を世に現して、悪魔の業を滅ぼし、わたしたちを神の子、永遠の命を継ぐ者としてくださいました。どうかこの希望によって自らを清く保ち、み子が栄光とみ力をもつて再び来られる時、み姿に似る者とならせてください。父と聖霊とともに一体であつて世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はミカ書第六章一節から」

1 聞け、主の言われることを。
立つて、告発せよ、山々の前で。
峰々にお前の声を聞かせよ。

2 聞け、山々よ、主の告発を。

とこしえの地の基よ。

主は御自分の民を告発し

イスラエルと争われる。

3 「わが民よ。わたしはお前に何をしたというのか。何をもつてお前を疲れさせたのか。

わたしに答えよ。

4 わたしはお前をエジプトの国から導き上り
奴隸の家から贖った。

また、モーセとアロンとミリアムを

お前の前に遣わした。

5 わが民よ、思い起こすがよい。

モアブの王バラクが何をたくらみ

ベオルの子バラムがそれに何と答えたかを。

シテームからギルガルまでのことを思い起こし

主の恵みの御業をわきまえるがよい。」

6 何をもつて、わたしは主の御前に出で

いと高き神にぬかずくべきか。

焼き尽くす献げ物として

当歳の子牛をもつて御前に出るべきか。

7 主は喜ばれるだろうか

幾千の雄羊、幾万の油の流れを。

わが咎を償うために長子を

自分の罪のために胎の実をささげるべきか。

8 人よ、何が善であり

主^{しゅ}が何^{なに}をお前^{まえ}に求めておられるかは
お前^{まえ}に告^つげられてい^いる。正義^{せいぎ}を行^{おこな}い、慈^{いつく}しみを愛^{あい}し
へりくだつて神^{かみ}と共^{とも}に歩^{あゆ}むこと、これである。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第三七編 一節〜六節

- 1 悪^{あく}を行^{おこな}う心^{こころ}を悩^{なや}まさず＝ 不正^{ふせい}を行^{おこな}う者^{もの}をねたまな
いように
- 2 彼^{かれ}らはやがて草^{くさ}のように枯^かれ＝ 青^{あお}草^{くさ}のよ^ようにしおれる
- 3 主^{しゅ}に寄^より頼^{たの}み、良^よい業^{わざ}に励^{はげ}み＝ 約^{やく}束^{そく}の地^ちを住^すまいとし、
真^{しん}実^{じつ}を糧^{かて}とせよ
- 4 主^{しゅ}のう^うちにあ^あつて喜^{よろこ}べ＝ 神^{かみ}はあ^あなたの心^{こころ}の願^{ねが}いをか
なえら^{なえ}れる
- 5 歩^{あゆ}む道^{みち}を主^{しゅ}にゆだねよ＝ 主^{しゅ}に信^{しん}頼^{らい}すれば成^なし遂^とげてく
ださ^{ださ}る
- 6 あ^あなたの正^{ただ}しさを光^{ひかり}のよ^ように輝^{かがや}かし＝ あ^あなたの公^{こう}正^{せい}
を真^ま昼^{ひる}のよ^ように明^{あき}らかにさ^される

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙Ⅰ第一章
二六節から」

26 兄^{きょう}弟^{だい}たち、あ^あなたがたが召^めされたときのことを、思^{おも}い起^お
こしてみなさい。人^{にん}間^{げん}的^{てき}に見^みて知^ち恵^えのある者^{もの}が多^{おほ}かつたわけ
ではなく、能^{のう}力^{りき}のある者^{もの}や、家^い柄^{がら}のよ^よい者^{もの}が多^{おほ}かつたわけ
でもありません。27 とこ^{ところ}が、神^{かみ}は知^ち恵^えある者^{もの}に恥^{はじ}をかか
せるため、世^よの無^む学^{がく}な者^{もの}を選^{えら}び、力^{ちから}ある者^{もの}に恥^{はじ}をかかせる
ため、世^よの無^む力^{りき}な者^{もの}を選^{えら}ばれました。28 また、神^{かみ}は地^ち位^いの
ある者^{もの}を無^む力^{りき}な者^{もの}とするため、世^よの無^むに等^{ひと}しい者^{もの}、身^み分^{ぶん}の卑^{いや}
しい者^{もの}や見^み下^さげられてい^いる者^{もの}を選^{えら}ばれたのです。29 それ^は、
だれ一人^{ひとり}、神^{かみ}の前^{まえ}で誇^{ほこ}ることがないよ^ようにするためです。30
神^{かみ}によ^よつてあ^あなたがたはキリスト・イエスに結^{むす}ばれ、この
キリストは、わ^わたしたちにとつて神^{かみ}の知^ち恵^えとなり、義^ぎと聖^{せい}と
贖^{あがな}いとな^なられたのです。31 「誇^{ほこ}る者^{もの}は主^{しゅ}を誇^{ほこ}れ」と書^かいて
あるとお^おりになるためです。

朗読者 「使徒書を終わります」

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第五章」節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされ
ると、弟子たちが近くに寄って来た。2 そこで、イエスは口
を開き、教えられた。

3 「心の貧しい人々は、幸いである、

天の国はその人たちのものである。

4 悲しむ人々は、幸いである、

その人たちは慰められる。

5 柔和な人々は、幸いである、

その人たちは地を受け継ぐ。

6 義に飢え渴く人々は、幸いである、

その人たちは満たされる。

7 憐れみ深い人々は、幸いである、

その人たちは憐れみを受ける。

8 心の清い人々は、幸いである、

その人たちは神を見る。

9 平和を実現する人々は、幸いである、

その人たちは神の子と呼ばれる。

10 義のために迫害される人々は、幸いである、

天の国はその人たちのものである。

11 わたしのためにのしられ、迫害され、身に覚えのない

ことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸

いである。12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大

きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じよ

うに迫害されたのである。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」